

せりがや通信第3号

神奈川県立精神医療センターせりがや病院

依存症について（2）＜アルコールによる臓器障害＞

かつての「アル中」のイメージは飲んでも周りに迷惑をかけるというものでしたが、この頃は、こうしたアルコール依存症の社会的、精神医学的問題よりも臓器障害が問題にされて、一人一人の健康を損なう病気としてのアルコール依存症が目立ってきました。多くは消化器疾患、代謝性疾患、がん等ですが、からだのほとんどの臓器がアルコールによって障害を受けます。その大部分の方は内科などの身体面の治療を受けていて、アルコールが原因と誰もが分かっているのですが、なかなか、アルコール依存症と臓器障害をともに見据えた総合的医療に結びつきません。ひとつには、内科医等、身体面を診る医師にアルコール依存症を治療可能な病気として捉えていただけず、依存症を単純に「意志の弱さ」など個人の責任にしてしまうことなどがありましよう。しかし、自分の力だけではやめられない状態が依存症なのです。

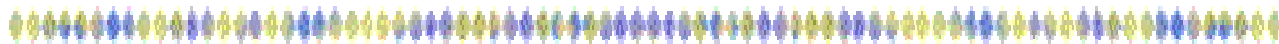
患者さん自身が健康を回復するには断酒が必要だと認識することや、援助を受け入れて酒を止めるのだという気持ちは絶対に必要ですが、やはり、依存症の治療につながらないことには断酒もうまくいかないし、臓器障害からの回復も難しいのです。アルコール関連の臓器障害とは、肝硬変に至る肝臓障害、慢性・急性の膵炎、糖尿病などの代謝疾患、食道がんを含む消化器疾患、高血圧などが代表的ですが、もちろん脳や末梢神経も障害を受けます。その他、心臓肥大、不整脈、痛風、貧血、出血傾向、免疫力の低下、睾丸萎縮、月経不全、骨粗しょう症、大腿骨骨頭壊死などほぼ全身、内科だけではなく整形外科、泌尿器科、婦人科、神経内科など多くの科が関わっています。

特集：看護の日看護週間

フォローレンスナイチンゲールの生誕(5月12日)を記念し「看護の日・看護週間記念行事」が全国的に行われています。当院は7月13日に行い、今回で12回目を迎えました。地域の中学生の皆さんを招き、パンフレット配布、パネル展示、ビデオ視聴、講義、キャラバンカー（薬物乱用防止広報車）の見学、アルコールパッチテスト（飲める体質、飲めない体質を知る）等の、薬物乱用防止教育を行いました。

目を輝かせて、説明や講義に興味を示し、熱心に聞き入っている姿がありました。後日、病院に寄せられた感想文には、薬物やアルコールの怖さなどを学び「絶対使うな！！」「周囲に困っている人がいたら手をさしのべたい」等、様々な思いが記載されていました。スタッフはそれを読み、「また来年も頑張るぞ！」という気持ちを強くしました。

薬物はどんどん私たちの身近に忍びよっています。形を変え安易に手を出しやすい現状があります。これ以上、依存症で苦しむ患者さんが増えないことを願い、「看護の日看護週間記念行事」を通して「薬物乱用防止」を訴え続けたいと思います。



薬物家族教室の状況

毎月第2・4木曜日（祭日は除く）の午後1時30分～3時、せりがや病院デイケア室で実施しています。シンナー、覚せい剤、麻薬、大麻、処方薬など、薬物依存の患者さんのご家族が対象です。せりがや病院に受診されていない方のご家族も参加でき、予約は不要です。心理・相談科が担当しています。参加されたご家族が、ご自分の現状や体験を話し合いながら、共に学べる場になるよう工夫しながら進めています。昨年（平成16年度）は22回開催し、延べ136名（1回10名前後）が参加されました。患者さんのご両親や母親の参加が多く、年間10回を超えて参加されているご両親もいらっしゃいました。また子どもさんや兄弟、親族、祖父母といった方々の参加もあります。毎回初めての方もいらっしゃいます。せりがや病院に入院・通院歴のある患者さんのご家族が7割ですが、他病院やまだ病院に受診していない方のご家族も参加されています。ご本人の状況は半数が覚せい剤依存、処方・市販薬を含む薬物依存が2割前後です。20歳～30歳代の若い方が多く、参加されているご家族は親が7割以上という状況です。薬物依存症について共に感じ、学び、話し、振り返り、手を放し、見守り、回復に向けた家族ご自身の手がかりを見つけていただきたいと思います。

<p><アルコール家族教室のご案内> 10月1日（土）②「アルコール依存症について」 10月6日（木）③「家族の対応」 10月20日（木）④「家族の対応」 11月5日（土）⑤「入院生活について」 11月17日（木）①「アルコール依存症について」 12月1日（木）②「アルコール依存症について」 *5回1シリーズで行っていますが、どの回からでもご参加いただけます。 時間：午後1時30分～午後3時30分 場所：せりがや病院 2階デイケア室</p>	<p><薬物家族教室のご案内> 9月22日（木）④家族の変化・本人の変化 10月13日（木）①薬物依存症とは 10月27日（木）②否認の心理（本人の心理） 11月10日（木）③自分自身を振り返る 11月24日（木）④家族の変化・本人の変化 *4回1シリーズで行っていますが、どの回からでもご参加いただけます。 日時：午後1時30分～午後3時 場所：せりがや病院 2階デイケア室</p>
--	---

外来からのお知らせ—再来診療の時間予約制の実施—

皆様、既にご承知のように、初診の方には時間予約制を導入していますが、この9月から待ち時間緩和を目的として、再来の方にも時間予約制を導入いたします。しばらくの間は、予約していない方との混在が考えられ、皆様にご迷惑をおかけする点もあると思いますが、診療が円滑に行えるよう努力していきたいと思っております。なお、予約日時変更のご連絡は外来にお願いいたします。

<変更受付時間：平日の午後2時～4時> 電話番号：045（822）0365

〒 233-0006 住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-3-1
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/byouin/seisin/index.htm>
 発行所 神奈川県立精神医療センター せりがや病院 編集委員